

令和6年度 青森市子ども会議 in 第39回子どもの祭典

- 1 日 時 令和6年7月7日（日）7時30分～15時00分
- 2 場 所 浪岡総合運動公園
- 3 出席者 子ども会議委員19名、子どもサポーター1名、事務局5名
- 4 活動内容 子どもの権利等に関する出張普及啓発活動
- 5 開催概要



昨年度に引き続き、「子どもの祭典」にブースを出展し、ゲームを通じた「子どもの権利等に関する出張普及啓発活動」を行いました。朝の段階では雨が降っており会場変更も危ぶまれましたが、開会式の前には晴れ、無事に開催することができました。

<今年のブース内容>

- ①クイズラリー ②的あて ③ポンポンカーリング ④スノードームづくり

事前準備

9時前に会場の浪岡総合運動公園に到着し、ブース設営を行いました。テントの設営や掲示物の貼り付け、テーブルやイスの運搬・配置など、みんなで協力しながら準備をしました。あわせて、各ブースの担当や役割、休憩時間の確認も行いました。

本番（ブースの運営）

<クイズラリー>

子ども会議委員が考えた全部で7問のクイズを解いてもらいました。会場が浪岡ということで今回は浪岡に関する問題をいつもより多くしました。全問正解者にはキーホルダー・缶バッジ・子どもの権利のチラシが入ったミニタオルの中から好きなものを1つ、全問正解できなかった人には参加賞として飴かティッシュを渡しました。問題文にヒントを入れたり、担当の子ども会議委員が掲示物を使ってヒントを出したりしたことで、全問正解する人が多かったです。また、クイズラリーに参加すると、的あてとポンポンカーリングで挑戦する回数が増える特典をつけました。

あわせて、街をアップデートするグループの活動予定の1つである「完食調べ」を行うため「給食アンケート」も実施しました。



<的あて>

1人3回（クイズラリーに参加した人は5回）、トイレットペーパーや段ボールでできた弾を飛ばして、テーブルに並べたペットボトルの的を倒し、15ポイント以上で景品をもらえるルールで行いました。

風で倒れないように的のペットボトルに少量の水を入れたので、当たっても倒れなかったり、当たったのがマイナスポイントの的だったり、難易度が高い的あてになりました。景品がもらえる15ポイント以上をとる子がなかなか出なかったため、10ポイント以上で景品をもらえることにしたり、最終的には5ポイント以上で景品をもらえるようにしたりとやりながら調整しました。



<ポンポンカーリング>

ポンポンカーリングを得点を書かれた紙の上で2回（クイズラリーに参加した人は3回）滑らせ、止まった場所を書いてある得点を数えます。机の上から落ちた場合は0ポイント、ポンポンカーリングの持ち手部分が倒れた場合はマイナスポイントになるというルールで行いました。ランキング形式で1位を更新した人に、子ども会議のトートバックを景品としてあげ、参加賞として飴またはティッシュを渡しました。

一番遠いところから、7ポイント→2ポイント→1ポイントと区切りましたが、7ポイントを得点することが難しく、最高は14点となりました。初めての出し物でしたが、ルールも簡単で大人から子どもまで参加してくれて、とても盛り上がりました。



<スノードームづくり>

あらかじめ用意した容器とけんりはかせなどのキャラクターをラミネートしたもの、ビーズやグリッターなどの飾りを来場者に渡し、自分だけのオリジナルスノードームを作ってもらいました。

男女問わず参加してくれて、特に小さい子に人気があり、準備していた容器が途中で無くなるほどの大盛況でした。



子ども会議委員はブースの運営を行いつつ交代で休憩に入り、他のブースや出し物も楽しむなど、子どもの祭典を満喫しました。無事に子どもの権利等に関する出張普及啓発活動を終え、参加者にも楽しく子どもの権利のことなどを知ってもらえたと思います。